



## 『町おこし 人おこし』

校長 横田 和 長

### 『町おこし 人おこし』

町は一人ではおこせませんが 人は一人でもおこせます  
おこすとは“興す”であり、“熾す”であり、“起こす”です。  
一人一人の魂の覚醒こそが町おこしの第一歩であり  
皆さんの役目であります

上記は仮面ライダー等の作者、石ノ森章太郎さんが書いた言葉です。宮城県登米市の石ノ森章太郎ふるさと記念館にこの言葉が刻まれた碑があります。

東日本大震災から14年が経ちました。改めて、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災地の日も早い復興をお祈りいたします。

ちょうど14年前、被災地派遣教員として、宮城県登米市津山町にある津山中学校に赴任しました。当時は何か自分にできることはないか、役に立てることはないかと無我夢中でした。そんな中、石ノ森章太郎さんのこの言葉がとても印象に残りました。被災地派遣教員としての任務が終わるにあたり、津山中の生徒達との別れの際にもこの言葉を紹介しました。

この言葉の中にある、人おこしの“おこす”という言葉。言葉の中にも書かれていますが、このおこしにはいろいろな意味が込められています。興す＝衰えていたものを再び勢いづかせる。熾す＝（炭など）火をつける。起こす＝今までなかったものを新たに生じさせる。

被災地派遣教員として、ただ被災地に行って支援する事だけが目的ではなく、その後も震災を風化させず、防災教育を進めながらも、人々がより深い絆で結ばれ、そして自ら考え行動しながら、大きな一つの目標である震災からの復興のために尽くす人材の育成することが役目の中の一つであると考えようになりました。そのためには、今の子どもたちの“心の火”をともし、その“心の火”がやがて大きくなり、自分の役割、できることを見つけ、自ら進んで行動していく力、そして互いに尊重し、助け高め合いながら、復興を担っていく、社会をより良くする人材を育成することが使命と考え、私はその素地を、教育を通して行かなければならないと感じて、これまでも出会った生徒たちに微力ではありますが、伝えてきたつもりです。

今の子どもたちには『夢』をもってほしいです。そして、自分の生まれ育った町を大切にしてほしいです。

14年前に被災した生徒たちはきっとそれぞれの道を歩み、自分の道を一步一步歩んでいるはずです。今の子どもたちにも自分で何ができるか、考える力を身に付けてほしいと思っています。

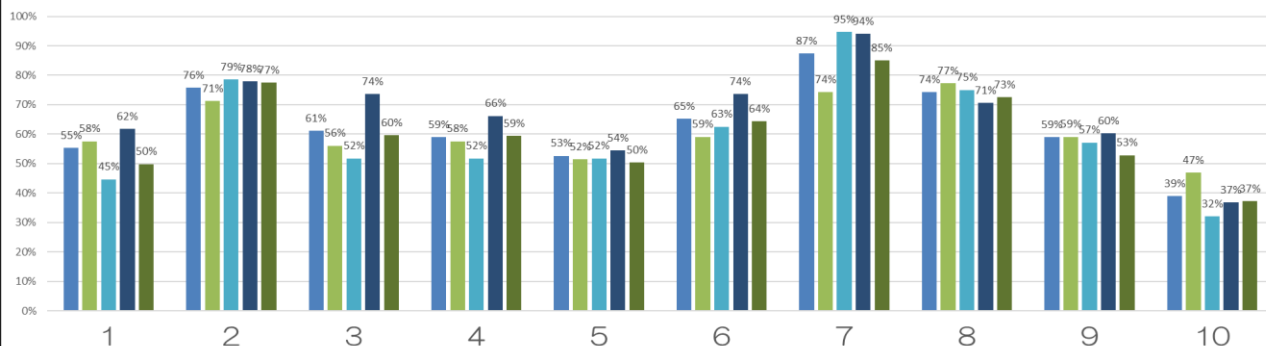
人おこしが人を育て、町づくりに繋がります。そして町づくりはやがて町おこしになり、国づくりが国興しになり、復興が進み、地域社会も良くなると考えます。誰かに支えられていると思うだけでも、人は心強くなります。そして力になっていきます。子どもたちには『なぜ』『どうして』それから『どうすれば良くなる』という考えをもってもらいたいです。何か小さなことでもいいです。今自分に何ができるかを考えてほしいです。そして、人を思いやる気持ちをもって、互いに尊重し、助け高め合ってほしいです。

## 杉並区「意識・実態調査」アンケートについて（続編）

### 杉並区「意識・実態調査」（生徒調査）

学校だよりは、本校 HP に掲載していますので、  
グラフの数値は、そちらで御確認ください。

■ 富士見丘中学校全学年 ■ 1学年 ■ 2学年 ■ 3学年 ■ 杉並区立中学校全学年



#### 14 杉並区独自項目

数値は肯定率：「とてもそう思う」「そう思う」の合計

- 新しいことを学んで身に付けようとするとき、自分で計画を立てて学習を進めることができる。
- 相手が自分とは違う考えや気持ちでも、最初から否定しないで受け止めている。
- いまの学校のみんななら、協力して、全員が通うことが楽しくなる学校をつくれると思う。
- 授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる。
- 授業中、分からないことがあれば先生が自分に合わせて教えてくれる。
- 自分には、自分のやりたいことを応援してくれる身近な地域の大人がいる。
- 授業では、タブレット端末を活用した授業を行っている。
- 学校の生活が楽しい。
- 読書は好きである。
- この1か月間に本を読みましたか。

※電子書籍も数えます ※教科書や参考書、漫画や雑誌は数えません

文化庁の調査によると「1か月に1冊も読まない」大人は6割余で、大人の読書離れが浮き彫りになりました。「スマートフォン」の利用が増えていることや、書店の減少で本を手にする機会が減ってきていることが影響しているそうです。その一方で、子どもたちの読書量は増加傾向にあるという調査結果があります。2023年6月の調査では1ヶ月に読んだ本の冊数は中学生で平均 5.5 冊ということです。しかし、本校と杉並区の(10)の数値は、大人と同じ傾向を示しています。文字や活字に親しむ機会の充実を図っていききたいと思います。

## 小中連携の取り組み 2月10日



小中連携の一環として、図書委員が富士見丘小学校児童クラブへ読み聞かせに行きました。小学生にどうやったら楽しんでもらえるか、どんな本が喜んでもらえるかを考え、各自本を選びました。学校図書館から本を選ぶ生徒もいれば、自分の本を選んだ生徒もありまた、クイズを織り交ぜたりパペットを使用したり、バラエティに富んだ、読み聞かせとなりました。

読み聞かせ当日は何う前に練習をし、いざ本番。児童クラブの皆さんは、キラキラした目で読み聞かせを聞いてくれました。クラブ長の先生からは、「毎月でもお願いしたい!」というお言葉をいただき、図書委員も貴重な体験をさせていただきました。

令和8年度の校舎移転に向けて、小中連携の取り組みを今後も継続していきたいと考えています。



## 3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。



皆さんが入学した時は旧校舎でした。1年4ヶ月を過ごした校舎に別れを告げて仮移転をしました。



小学校校舎に引っ越す、卒業した校舎に戻る、自分たちの過ごした校舎がなくなる、ということは、



おとなが思うより大変なことだったのではないのでしょうか。それでも、皆さんの前向きな姿勢が



この校舎で中学校を続けていく大きな支えとなりました。皆さんが元気に学校に来る姿が支えでした。



「ものより思い出」というCMがありました。富士見丘中学校の旧校舎はなくなってしまっても、そこで過ごした思い出、そこでのご縁、そこで身に付けたことはずっと残るものです。それらの経験を自分の支えにして、新しい道を進んでいってください。ご卒業おめでとうございます。



## 4月の行事予定表（暫定版）

日	曜日	行 事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	春季休業日終
5	土	
6	日	
7	月	始業式・着任式（正装）
8	火	入学式（正装）
9	水	生徒会オリエンテーション⑥
10	木	避難訓練 部活動仮入部始
11	金	安全指導
12	土	土曜授業 保護者会
13	日	
14	月	体力調査始
15	火	

※【 】は学校支援本部 JOINT の関連事業です。

日	曜日	行 事
16	水	⑤カット
17	木	全国学力調査（3年）
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	生徒朝礼 身体計測・体力テスト
22	火	
23	水	フレンドシップスクール（1年）
24	木	フレンドシップスクール（1年）
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	全校朝礼
29	火	昭和の日
30	水	



体育館の♡



校庭に来たメジロの♡



給食室からの♡

## マイクラ森の洋館



写真提供 OK



3月7日

3F北側反面のコンクリートが入り、木枠が外され始めました。残りは南側の3Fと4Fです。4Fは技術室・1年生教室が入り、北側には屋上プールができます。これからプール「水槽」を数回に分けて4Fに上げるそうです。地上のミキサー車から生コンクリートを4Fまで“吸い上げる力”もスゴいですが、ステンレス素材等の25×10mのプール水槽を4Fまで上げる“技”とはどんなものなのでしょう。